

# 令和5年度 とっとり就活応援団ミーティング

# はじめに

本日はご多忙のところお集まりいただきありがとうございます。

今日のミーティングは、交流会参加時のポイントをお伝えするとともに

サポーターの皆様が交流できる場になればと考えております。

堅苦しい会ではありませんので、リラックスしてご参加ください。

# 本日のミーティング内容

1. 「とっとり就活サポーター」とは

2. 県内就職の現状

3. オンライン講演 「とっとり暮らしの魅力について」

<講師：金井塚 千秋さん（鳥取県ウェルカニコーディネーター）>

首都圏よりR3.12に鳥取県へ移住。  
航空会社の客室乗務員として働きながら鳥取県職員を兼業し、  
県の魅力を発信中。

4. グループワーク（交流、意見交換、悩み相談）

# 「とっとり就活サポーター」とは

## 1. 目的

県内企業若手社員の皆様からとっとり暮らしの魅力を伝えていただき、学生の県内就職を促進すること。

## 2. 役割

大学等で実施する交流会に参加し、実際の仕事内容や鳥取での暮らしについて学生からの質問に答えていただく。

# 「とっとり就活サポーター」とは

## 3. 交流会でお話いただきたいこと

- (1) ご自身の就活体験談
- (2) 鳥取県で働くことの魅力
- (3) 県内企業、業界の魅力
- (4) 仕事のやりがい
- (5) 県内での暮らし、余暇の過ごし方
- (6) その他鳥取県の魅力

※個別のリクルート活動は行わないことをお願いしております

.....が、**思わず御社に就職したくなるような  
公私の充実っぷりをお伝えいただくのはOKです！**

# 「とっとり就活サポーター」とは

## 4. 交流会への協力依頼

ふるさと鳥取県定住機構より

- ・ 交流会開催学校のOB・OGの方
- ・ 参加するサポーターの業種や人数
- ・ 会社所在地からの距離

などの要素を確認し、お声掛けさせていただきます。

用務のご都合がございましたら、ぜひご協力をお願いいたします。

※会場までの旅費をお支払いいたします。

# 「とっとり就活サポーター」とは

## 5. 活動実績

- ・ 現在 **55社137名** の方が登録
- ・ 令和4年度は **29回44人** の方にご協力いただきました。
- ・ **交流会に参加した学生が県内に就職し  
自らが就活サポーターとして鳥取の魅力を広げている事例も**

# 県内就職の現状

## 1. 県外に進学した学生の県内就職率

○本県出身者が多い大学（短期大学含む）に対する調査結果

卒業年月	県内高校 出身者数 (A)	就職者数 (県内外含む) (B)	県内就職者数 (C)	就職者に占める県内就職率 (C/B)		
				全体	男	女
R4.3	1,125人	887人	336人	37.9%	35.7%	40.4%
R3.3	1,057人	835人	336人	40.2%	39.5%	40.9%
R2.3	968人	816人	324人	39.7%	37.5%	42.1%
H31.3	960人	793人	282人	35.6%	32.5%	38.6%

(調査対象 (R3.3卒以降) : 上位100大学及びその他協定締結校 6校 計106校)

(調査対象 (R2.3卒以前) : 上位50大学、関東15大学、関西10大学及びその他協定締結校 3校 計78校)

# 県内就職の現状

## 2. 県内大学等卒業生の県内就職率(R4.3)

- ・ 4年制大学の就職率は20%弱

鳥取大学の県内就職率は**19.1%** (前年比2.6%上昇)

公立鳥取環境大学は**16.5%** (前年比1.9%上昇)

学校名	卒業者数	就職者 (A)	県内就職者数 (B)	県内就職率 (B/A)
鳥取大学	1,433	906	173	<b>19.1%</b>
公立鳥取環境大学	257	212	35	<b>16.5%</b>
鳥取看護大学	82	80	64	<b>80.0%</b>
鳥取短期大学	279	239	200	<b>83.7%</b>
米子工業高等専門学校	226	149	25	<b>16.8%</b>
合計	2,277	1,586	497	<b>31.3%</b>

# 【参考】交流会参加学生からの声

## ①興味を持った・参考になったこと (抜粋・要約)

- ・ 大学生生活の過ごし方 (ガクチカなど)
- ・ 何を基準に就職企業を決めたか
- ・ 具体的な業務内容
- ・ サポーターの“就活”や“仕事”に対する考え方
- ・ 説明会では聞きづらいお話 (会社のリアル)
- ・ 就活の体験談
- ・ 鳥取で就職した理由
- ・ 実際に就職しての満足度

- ・ **調べていなかった業種のお話が聞けて、興味が出てきた**  
・ **社会人の方と話す機会が少なく、貴重な体験だった** という声も。